

1 地域に根ざした科学技術の展開

■ 現状と課題

● 産業構造の転換に向けた科学技術の役割

社会・経済のボーダレス化が進み、生産拠点の海外シフトによる産業・雇用・研究開発の空洞化が懸念されており、県内産業は、海外生産拠点を視野に入れた経営戦略の下で、知識集約型の産業構造への一層の転換が必要になっています。このため、全国でもトップレベルのポテンシャルを持つ本県の特長を生かして、独創的な科学技術を振興し、既存産業の高度化を図るとともに、新産業を創出し、雇用の確保を図ることが課題となっています。

● 生活の質の向上のための科学技術の振興

少子・高齢化が進行する中で、福祉、保健・医療等の充実のために科学技術の振興が大きな課題となっています。

また、阪神・淡路大震災や地球温暖化問題等を契機として、県民生活の安全の確保や環境問題の重要性が認識され、地震防災対策技術や環境問題に対応したリサイクル技術等の確立が課題となっています。

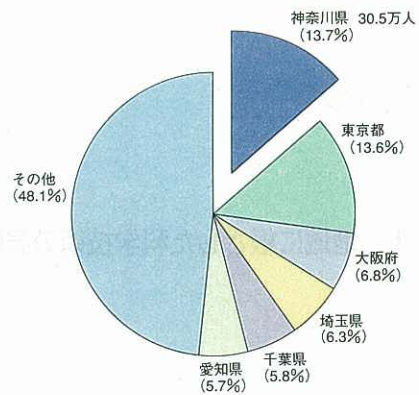
● 科学技術への信頼の維持・向上

科学技術のブラックボックス化が進み、科学技術に対する関心の低下と不安感が募っており、県民の科学技術への信頼の維持・向上が必要となっています。

● 科学技術系人材の育成確保

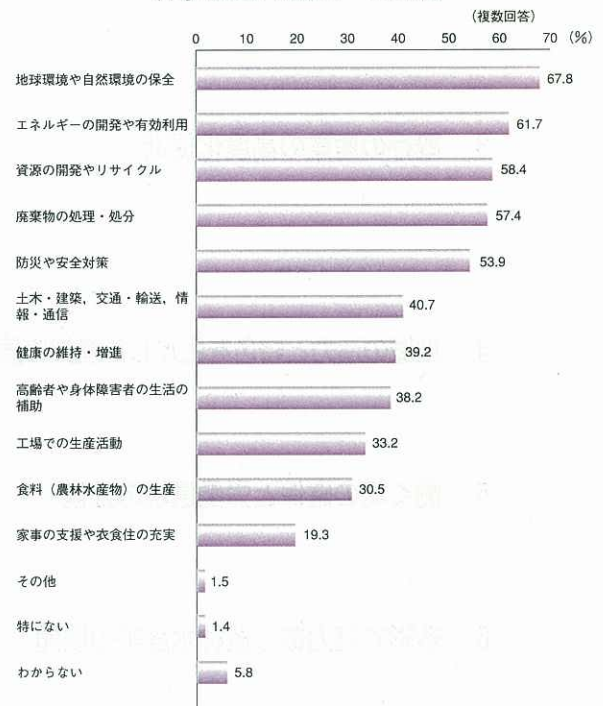
青少年の科学技術離れが懸念されるとともに、科学技術系人材自体も高齢化し、科学技術の担い手である人材の育成確保の面からも新たな対応が必要となっています。

研究者・技術者数（常住地）



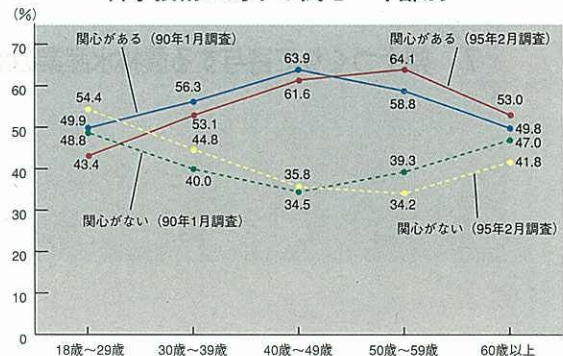
(資料「国勢調査結果」90年)

科学技術が貢献すべき分野



(資料 総理府「科学技術と社会に関する世論調査」95年)

科学技術に対する関心—年齢別—



(資料 総理府「科学技術と社会に関する世論調査」95年)

(1) 科学技術振興基盤の整備・充実

地域産業の高度化を促進するため、県試験研究機関の機能強化を図るとともに、共同利用研究設備を整備し、県民や企業に開かれた研究所をめざします。

また、「拠点づくりからネットワークづくりへ」の観点から研究機関のネットワークづくりを推進するほか、(財)神奈川科学技術アカデミーが行う基礎的・先端的な科学技術分野の研究と高度な教育に対して支援します。

主要施策 県試験研究機関の機能強化

210

地域産業の高度化や県民生活に密着した安全、環境保全、保健衛生などに対する研究を強化するとともに、県試験研究機関の機能強化に取り組み、県内企業等に対する技術支援を充実します。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①研究機能高度化の推進 (主体：県)	研究機能と成果展開の強化	サイエンス&テクノロジーフォーラムの開催	・医療福祉、環境、生活等行政課題に対応した統一テーマによる合同発表会及びディスカッションの実施 ・提案応募制による基礎的研究の実施	年間66テーマ程度実施
	重点基礎研究の実施	同 左		
	研究リーダーの資質向上	同 左	・研究マネジメント能力の育成、トップ研究者の養成	
	研究評価システム整備	研究マネジメントシステムの導入	・研究所や研究テーマの外部評価の実施	
	研究交流の活発化による研究水準の向上	同 左	・海外の研究者との交流やフロンティア型研究員の雇用	
②研究施設の共同利用の拡充 (主体：県)	共同利用研究機器の利用体制の整備	同 左	・高度な研究機器の共同利用の推進	海外学会 8名派遣 特別研究員 4名受入 客員研究員 6名招へい

主要施策 研究機関のネットワークづくり

211

県内の研究機関や企業をネットワーク化し、情報や人的交流を通じて効率的な研究開発を進め、さらに、県民に対して的確な科学技術情報を提供します。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①かながわ研究情報ネットワークの整備 (主体：県)	研究の効率化、高度化と県民に対する科学技術情報提供の充実	県試験研究機関のネットワークの整備	・県試験研究機関全体のホームページの作成 ・情報提供のあり方、ネットワーク運営方法等の調査研究の実施	
②産学公の研究交流の促進 (主体：民間)	研究交流の促進	ネットワークの強化	・かながわ研究交流推進協議会の活動充実強化のための支援	交流集会の開催等
③生活科学研究の推進 (再掲) (主体：県)	生活科学研究ネットワークによる調査研究の推進	生活科学研究ネットワークの整備	・関係部局、試験研究機関とのネットワークによる試験調査研究、情報提供の実施体制の確立	

主要施策 先端的科学技術分野における研究・教育の強化

212

(財) 神奈川科学技術アカデミーが行う先端的かつ高度な科学技術分野の研究と大学院レベルの高度な教育等に対して支援します。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①(財) 神奈川科学技術アカデミーへの支援 (主体：民間)	先端的基礎研究の充実	研究プロジェクトの実施	・流動研究プロジェクトの充実と重点分野の研究システムの強化	9プロジェクト
	大学院との連携による研究の高度化	同左	・研究水準の高い大学院との連携による研究体制の充実	1大学院と連携
	研究成果、技術シーズの地域産業等への貢献	同左	・研究成果等の企業への技術移転と普及、展開	成果展開、地域展開事業
	創造性の高い人材の育成	教育内容の充実	・大学院レベルの教育による研究人材の育成	30コース/年
	創造的研究の振興、科学技術の普及・啓発	創造的研究の推進	・創造的基礎研究の振興を図るための研究助成の実施	研究助成 38件/年 集会助成5件/年

(2) 新たな研究の推進と成果展開

高齢化や環境問題への対応など新たな社会の要請に対応した研究を進めます。

また、産・学・公の連携による共同研究等を推進するとともに、研究成果が地域の経済の活性化や県民生活の向上に円滑につながるよう、コーディネータを活用した技術移転事業を行うなど、研究成果の地域展開施策を強化します。

主要施策 新分野の研究の推進

213

*シルバーサイエンス、資源リサイクル、***ソフトサイエンス、高度情報通信技術、生活科学など、先導的かつ高度な分野の研究開発を充実、強化することで、安全で住み良い社会づくりに貢献するとともに、これら新分野の研究の成果から新産業の創出をめざします。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①生活関連の先導的研究の推進 (主体：国、県、民間)	先導的学際研究の充実	生活関連分野における基礎研究の実施	・想定テーマ ・***バイオレメディエーション技術 ・シルバーサイエンス ・アレルギー対策の研究 ・ヒューマンインターフェイス技術	
②新産業創出のための基礎研究の推進 (主体：国、県、民間)	基礎研究の充実	戦略的基礎研究の実施	・大学、(財) 神奈川科学技術アカデミー等が行う戦略的基礎研究への支援	

*シルバーサイエンス…高齢化に対応した医療、福祉、住宅、まちづくりなどを目的とした研究分野

**ソフトサイエンス…画像処理や情報科学などの新しい学問分野を統合し、環境、都市など社会問題への対応や人間の心理や行動などの解明を図ることを目的とした研究分野

***バイオレメディエーション技術…微生物の力を利用して、汚染された土壌や地下水などの環境を修復する技術

重要かつ緊急な課題について、大学・研究所・企業が共同して、基礎から開発までの一貫した研究を進めます。また、他県や海外研究機関との共同研究を進め、広域的な問題解決や国際的な研究交流を推進します。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①社会ニーズに対応する研究事業の推進 (主体：国、県、市町村、民間)	産学公地域総合研究の実施	同 左	・ 想定テーマ ・ 家庭ゴミの再資源化・減量化 ・ 災害救助活動の高度化 ・ 高齢者の介護支援システム	産学公地域総合研究事業 1テーマ 生活基盤地域交流研究事業 1テーマ
	自治体間共同研究の実施	同 左	・ 想定テーマ ・ 大気汚染、水質汚濁等に関する研究 ・ 海洋資源等に関する研究	
②国際間の共同研究の推進 (主体：県)	国際交流による研究水準の向上と文化の交流	同 左	・ 外国人研究員の受入れ ・ 県試験研究機関と海外研究機関との共同研究の実施	外国人研究員の受入2名

県試験研究機関や基礎研究実施機関等の研究成果の地域展開を図るため、コーディネータを育成・配置して、研究の成果が実用化されるしくみづくりを進めます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①新技術の実用化へのプロモート (主体：国、県、民間)	基礎研究の成果の実用化	コーディネータの配置 成果の実用化に向けたしくみづくり	・ 研究コーディネータの配置 ・ 技術シーズ・ニーズの探索 ・ 実用化可能性試験の実施	
②生活関連の研究成果の普及 (一部再掲) (主体：県、市町村、民間)	保健医療、環境、安全分野における研究成果の普及	福祉機器の開発支援機能の充実 廃棄物のリサイクルプラントの設置、運転	・ 民間事業者の機器開発支援機能の整備 ・ 市町村との協力によるモデルプラントの設置、運転	

(3) 科学技術系人材の育成・確保

科学技術振興の鍵となる人材の育成・確保のため、青少年が科学技術に親しめる環境や機会の整備、研究者・技術者のための高度な教育の充実、中堅技術者の実践的教育、経験豊かな科学技術者の社会参加など、ライフステージに応じた総合的な施策の展開を図ります。

主要施策 研究者、技術者の育成・確保

216

(財) 神奈川科学技術アカデミーなど高等教育機関での教育、県試験研究機関のオープンラボ（開放研究室）等を活用した*オンザリサーチトレーニング（ORT）、産業技術短期大学校やかながわ農業アカデミーでの実践教育の充実を図ります。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①(財) 神奈川科学技術アカデミーへの支援 (再掲) (主体：民間)	研究人材の育成	先端的基礎研究分野の研究者の育成	・研究事業、教育事業、学術交流事業への支援	30コース/年
②中小企業の研究開発人材の育成 (再掲) (主体：県)	実践的な研究開発能力の育成	同 左	・オープンラボによるORTの実施	年間2期 延べ40日
③中小企業向け研修の実施 (再掲) (主体：県)	基盤産業技術者の育成	同 左	・技術の進展や企業ニーズに合わせた研修の実施 5種15コース	5種15コース
④産業技術短期大学校における実践技術者の育成 (再掲) (主体：県)	専門・高度な在職者訓練の実施	同 左	・訓練コース及び定員の拡充	在職者訓練 60コース
⑤かながわ農業アカデミーにおける教育指導の実施 (再掲) (主体：県)	農業人材の育成と経営力・技術力の養成	同 左	・農業経営に必要な科学的知識や技術の習得促進を目的とした教育指導事業の実施 ・農業者・農業を志す人を対象とした農業者短期研修事業の実施	



*オンザリサーチトレーニング…実際の研究の場を利用して研究能力を高める研修

主要施策 将来の科学技術系人材の育成

217

博物館、科学館及び研究機関等が連携して、青少年が科学技術に親しめる環境を整備し、将来の科学技術系人材の育成を図ります。また、青少年の科学技術活動を支援するサイエンスボランティアが活動しやすい環境の整備に努めます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①青少年の科学技術活動の促進（一部再掲） (主体：国、県、市町村、民間)	科学技術に親しむ環境の充実	かながわサイエンスウィーク事業の実施 サイエンスボランティア制度の充実 中核的施設の整備	・シンポジウム、実験展示会、各施設行事を県内各館において実施 ・イベント情報の提供 ・ボランティアの教育 ・人材データベースの充実 ・科学体験拠点の整備	サイエンスウィーク行事を47施設で実施

主要施策 経験豊かな人材の活躍の場の整備

218

経験豊かな科学者・技術者が、中小企業、研究機関、教育機関の行う研究開発、社員教育、学生教育の指導者やコーディネータとして活躍できるよう、科学技術人材バンク（仮称）を整備します。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①科学技術人材バンク（仮称）の整備 (主体：県)	経験豊かな人材による科学技術活動の強化	科学技術人材バンク（仮称）の整備	・科学技術関係分野の人材データベースの整備	DATIK（商工系）神奈川人材銀行（労働系）等において一部データベース化
②技術アドバイザーによる指導（再掲） (主体：県)	中小企業の新製品開発の促進	同左	・技術アドバイザーの派遣・指導	延べ2000日程度指導